

平成26年度県立広島大学教員免許状更新講習・講座一覧

講座番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	主な受講対象者	受入予定人数 (最少開催人数)
1	英語音声についての理論と実践	本講座は、英語コミュニケーション活動に重要な位置を占める音声について、その基礎理論を学び、実践への応用を図ることを目的とする。生徒の発音向上を目指した具体的な指導法を考察するにあたり、次の各項目を中心とした講義及び実習を行う。1)日本人学習者の英語の発音の特徴、及び日英語対照音声学と音響分析の応用による発音指導、2)英語音声の知覚に関する日本人学習者と英語母語話者の特徴と、発音およびリスニングの認知的学習。	船津 晶代(人間文化学部教授) 片山 圭巳(生命環境学部講師)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年8月23日(土)	小学校教諭及び 中学校・高等学校 英語科教諭	30人 (3人)
2	英語教育の理論と実践	本講座は、英語教育の背景となる基礎理論を学び、実践への応用を測ることを目的とする。具体的な指導法を考察するにあたり、次の各項目を中心とした講義および実習を行う。1)言語と思考と文化の関係を論じる言語理論、2)英文読解指導のためのワークシート作成講座、3)語彙指導の理論と実践	馬本 勉(生命環境学部教授) 本岡直子(保健福祉学部教授) スティーブ・ルイス・ローゼン(人間文化学部准教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年8月11日(月)	中学校・高等学校 英語科教諭	30人 (3人)
3	国語科教育に活かす古典文学研究の成果(1)	伝統的な言語文化の理解に重点を置く新学習指導要領の特色を踏まえ、「日本における古典知の形成と展開」について考える。古典文学研究の最新成果を紹介しながら、白氏文集など中国文学の撰取と定着の様相を平安朝の文学作品でたどり、後代への展開を軍記や謡曲などの中世文学作品を素材として講じることを通じて、新たな知見を国語科教育にどのように活かしていくのかを考える。	樹下 文隆(人間文化学部教授) 西本 寮子(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年7月26日(土)	中学校・高等学校 国語科教諭	30人 (3人)
4	国語科教育に活かす古典文学研究の成果(2)	伝統的な言語文化の理解に重点を置く新学習指導要領の特色を踏まえ、「日本における古典知の形成と展開」について考える。最新の研究成果を紹介しながら、『史記』や『白氏文集』など、日本の古典知に組み入れられたいくつかの作品を味読する。更に、その受容の外にある中国古典の全体像を概観し、それとの対比を通して、日本文学の独自性についても考察を試みる。	柳川 順子(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年7月27日(日)	中学校・高等学校 国語科教諭	30人 (3人)
5	日本史(歴史)教育に地域史研究の成果をどう活かすか	身近な地域の歴史や文化遺産の学習を通して歴史への関心を高めることを求めている学習指導要領に対応するため、広島県地域を対象とする最新の研究成果(戦国大名毛利氏を中心とする地域史研究)を紹介しながら、新たな知見を日本史(社会科)の授業の展開にどのように活かしていくのかを考える。	秋山 伸隆(人間文化学部教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年7月27日(日)	中学校社会科・ 高等学校地歴科教諭	40人 (3人)
6	健やかな心身の育成指導の充実に関する講習	本講座は、「体力の向上」と「食育の充実」を中心として健康的な生活習慣の形成に重点を置く学習指導要領の特色を踏まえ、健康的な生活習慣形成を考える際の基礎的理解を深めることを目的とする。健康の維持・増進に深く関わる「生体科学」「スポーツ科学」「食育」という観点から、その最新の動向・知見について講じる。	江島 洋介(人間文化学部教授) 三浦 朗(人間文化学部教授) 西田 由香(人間文化学部准教授)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年7月12日(土)	全教諭 養護教諭	50人 (3人)
7	生命科学におけるタンパク質研究の意義と応用	ヒトゲノムの塩基配列解読が終わり、ポストゲノム研究としてタンパク質の網羅的解析(プロテオミクス)が進んでいる。 本講義では、各講師が以下の内容で最新のタンパク質研究の現状について解説する。 ・細胞情報伝達機構において機能する新規タンパク質の同定と解析(小西) ・うつ病の診断や治療に有用なバイオマーカーの検索と応用について(長尾) ・生体内における(酵素を中心とした)タンパク質の働き(大田)	小西 博昭(生命環境学部教授) 長尾 則男(生命環境学部准教授) 大田 毅(生命環境学部助教)	サテライトキャンパス ひろしま (広島市中区)	6時間	平成26年7月25日(金)	中学校・高等学校 理科教諭	30人 (3人)
8	環境問題の理解と理科教育	近年、様々な環境問題が注目を集めると共に社会生活を含む人間活動の在り方が問われている。即ち、環境問題は、これからの人の生き方を左右する事柄であると言えるが、その問題点を正しく理解するためには、科学リテラシーの醸成が必須である。 本講習では、最新の環境問題を通して理科的知識習得の必要性についての理解を促す。	西村 和之(生命環境学部教授) 内藤 佳奈子(生命環境学部准教授) 三苫 好治(生命環境学部准教授)	サテライトキャンパス ひろしま (広島市中区)	6時間	平成26年8月8日(金)	中学校・高等学校 理科教諭	30人 (3人)
9	特別支援教育講座A-広汎性発達障害・ADHD等の理解と支援	学習障害児(LD)、注意欠陥移動性障害(ADHD)、高機能自閉症等の発達障害児に対する適切な指導が教育現場に求められている。この講座では、医師、作業療法士、言語聴覚士の資格を有する教員により、発達障害児の行動や情緒、コミュニケーション、学習上の問題を最新の医学的知見から理解し、その具体的な指導法について教授する。	土田 玲子(保健福祉学部教授) 林 優子(保健福祉学部教授) 細川 淳嗣(保健福祉学部講師) 堀江 真由美(保健福祉学部講師) 山西 葉子(保健福祉学部助教)	三原キャンパス (三原市)	6時間	平成26年8月18日(月)	全教諭 養護教諭	100人 (3人)
10	特別支援教育講座B-知的障害・肢体不自由等の理解と支援	本講座では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する教員が、知的障害・肢体不自由等に対する最新の医学的知識や姿勢・運動、コミュニケーション、問題行動への支援等について具体的に教授する。	土田 玲子(保健福祉学部教授) 林 優子(保健福祉学部教授) 玉井 ふみ(保健福祉学部教授) 島谷 康司(保健福祉学部准教授) 長谷川 正哉(保健福祉学部講師) 山西 葉子(保健福祉学部助教)	三原キャンパス (三原市)	6時間	平成26年8月19日(火)	全教諭 養護教諭	50人 (3人)
11	学校現場に活かす社会的スキル訓練(SST)の考え方と実践技術	学級経営の成否は、教師が生徒や保護者との人間関係をいかに円滑に形成するかにかかっている。こうした問題を改善する一つの方途として、相手を理解し、自分の考えを適切に相手に伝えて、対人関係を良好にする技術である社会的スキル訓練(SST)が注目されている。SSTを学校教育にいかに関活用・実践していくか、先行実践事例やコミュニケーションに問題を抱えた子どもの事例等を検討しながら、心理教育のポイントを学ぶとともに、教師自身の社会的スキル向上のためのコツを会得する。	中谷 隆(保健福祉学部教授) 勝見 吉彰(保健福祉学部准教授) 細羽 竜也(保健福祉学部准教授) 永吉 美香(保健福祉学部助教)	広島キャンパス (広島市南区)	6時間	平成26年8月18日(月)	全教諭 養護教諭	100人 (3人)